

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	toiro青葉台		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 4日		～ 2024年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	85	(回答者数) 56
○従業者評価実施期間	2025年 1月 4日		～ 2024年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 14
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・離職者が少なく、児童に対して長年と関わっており小さい変化やバックボーンに応じた支援ができる。	・小学校入学時から利用していただき、その中で長年と支援し続けた背景をもとに個々の児童に対して支援観を構築できる。  ・スタッフの共有はクラスのみならず、拠点でも行い、その中で拠点全体で気かけ、些細な変化があった際には共有している。	・長年の職員のみではなく、全職員に個々の児童観を共有する必要がある。
2	・3教室あり、児童の特性によって教室の配置を選択可能。	・児童の特性と教室の療育方針に合わせた教室を選定し療育を行っていきける環境。  ・職員配置も職員の雰囲気や療育に対する考えをヒアリングし、方向性が合致する職員配置をしている。	・教室の支援観も大切にしつつ、個々の児童の個性も大切にし個性と社会性を伸ばせる環境づくりを出来るようにしていく必要がある。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・バリアフリーに特化していない。	・施設としてはバリアフリー化をしていかなければならない施設ではあるが施設までに歩くことや階段も多く、来所までにいくつも段差もありバリアフリーに特化した施設ではない。	・階段の問題に関しては解決はできないが歩く距離や段差などは停車の位置を工夫するなどして対応していく。
2	・一日の利用児童が多く、自教室の以外の子の共有が難しい。	・送迎は3教室同時に実施する為に送迎時の申し送りを自教室とは別の児童を行うことがあり、その際に内容が薄く、保護者様に正確に伝えられないことがある。	・できる限り、送迎前に特記事項等があった際には担当職員より、送迎担当職員に申し送りし、保護者様に内容を正確に伝え、誤解のないようする。また、事後対応として自教室の職員から電話等で対応する。
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	toiro青葉台		公表日 2025年3月10日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	14	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	14	0		より良い支援を考えるともう少し職員がいると安心できる。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	12	2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	13	1		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	14	0		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	14	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	3		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14	0	職員同士で話し合う機会があり、その時に意見などを話して改善に繋がられている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	10	ほとんどない	実施できていないので今後必要と考える。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	14	0		
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	14	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	12	2		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	14	0	何かあるたびに報告があがり、全職員で共有を行っている。	検討はしているが実施までには至っていない。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11	3		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12	2		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	14	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	14	0		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	14	0	数か月間隔でイベントを固定している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	14	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	14	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	12	2		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	14	0	個別支援計画を元に、毎日の記録をつけている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	14	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	12	2		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	14	0	すべてを職員側が行うのではなく、こどもが選択できるように促している。難しい子供は職員が補助。	時間と職員の数によりできていないときがある。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11	3		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	6		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	14	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	7		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	6		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9	5		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	10		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	7		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	14	0	送迎時、引き渡しの際に1日の出来事を話しての流れで子供の話を共有している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	11	3		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12	2		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	14	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	14	0		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	14	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	10		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11	3		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	12	2		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	14	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	14	0	聴覚だけでなく、視覚からも情報を取り入れることができるように絵カードを用意している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	14		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	6		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11	3		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	14	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	10		現在、対応児童は1名のみであり、対応法につきましては該当家庭のみにお伝えしている状況です。今後は外当外のご家庭にも詳細な対応方法をお伝えし理解を図ってもらえるようにします。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	13	1		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	14	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	14	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	14	0	全職職員参加のミーティングで実施している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	14	0			